

- 1面／三鉄ラッピング列車運行
- 3面／W杯避難誘導体制を確認
- 2面／週間テレビガイド
- 4面／梅酒の原料集荷

合同会社 釜石新聞社 〒026-0044 釜石市住吉町3番3号  
TEL 0193-55-4713 FAX 0193-55-4715 Eメール kamaishi-shinbun@kmail.plala.or.jp

交流会では参加者同士のディスカッションも



各種アドバイスをする村尾隆介さん

## W杯「おもてなし」へ 独自ボランティア交流会

域の盛り上げやおもて  
わて・かまいしラグビ  
町の釜石PITで開か  
などから約100人が  
を迎える意識を高めた。

# 4カ国試合（釜石で）をよく知ろう

アドバイス

困っていたら、率先して声をかけ助ける▽矢先にあいさつして笑顔を振りまく▽日本食など、心のポイントとして▽保険岩手支店、かまないでの立ち居振る舞いについても語る。外国人に対する会議盛岡マチカル・ラグビー・ボール・バースリー実行委が活動発表。懇親会では参加者が情報交換し、大会成功へ思いを共有した。

解を助ける道員として「紙とペン」や「指差し表示物」などを使いながらを勧めた。村尾さんは「握手時は右手。ドアを開く時は左手」と教える。後に続く人のために押すボタンは「左側にいる人、右側にいる人」で、内同会員は「左側にいる人、右側にいる人」という。国から本当にお客様が来るんだと実感。力タカラ語でいいなら、どうにか思い出し、コミュニケーションを図れれば」と願つた。それには、新潟市立内同会員である。

「そうな」ことをあらかじめ知つておくよう、「なごみ工房」メンバードイツニューケースを作り、来訪者に配布予定。写真を撮つてある、「野田町」は、「野田町」で喜ばれる対応例を紹介し、外国人の理顛張ろうと思った。外

「全般的な印象を左右する要因」と話した上で、大会までにマ釜石で試合をする4カ国（カナダ、フィジー、ナミビア、ウルグアイ）の知識を増やす「ボランティアがよみ」など注意を促した。不必要な布で大事。話しかけられて逃げるのが一番良くない」と注意を促した。

村尾さん  
アドバイス

「ニニミレオでーーー、ティーン」のメンバーたちで、ラガードばつち県、ラガードかまリン（釜石市）、サーキー（宮古市）など35体。日本代表の赤白のユニホーム姿で、「みんなでスクランム！」などとアピールしている。

（背景）よ熱戦の舞台

日から運行。この日も釜石駅に到着すると、車両を背に記念撮影する乗客の姿が見られた。観光で訪れる宮古駅から乗車した栃木県大田原市の大竹裕則さん（67歳）は、「満さん（67歳）」の妻は、「こうした大人の車両があると、大人が盛り上がると思う」。